

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び



II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成

III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築

IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成

V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

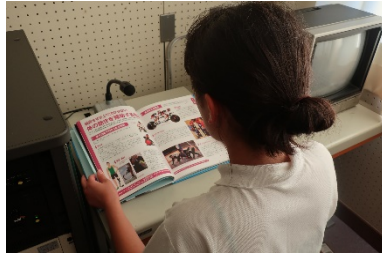
道府県・政令市名【 山口県 】

1 実践テーマ	【 I V 】
2 実施対象者	周北小学校児童及び教職員（7人＋6人） 周北小学校保護者 周北小学校区の地域住民
3 展開の形式	<p>（1）学校における活動</p> <p>① 教科名（ 体 育 ）</p> <p>② 行事名（ ふれあい参観日 ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>（2）地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目 標 (ねらい)	<p>・友達や保護者・地域の人と運動遊びやパラスポーツを一緒に行うことで、運動が好きという児童を増やし、体を動かすことの楽しさを感じることができるようにする。</p> <p>・地域の人とともにパラリンピック選手の生き方を考える学習を通して、パラリンピックへの興味関心を高める。</p>
取組内容	<p>1 運動遊びの充実（ボッチャを中心に）</p> <p>山口県レクリエーション協会を講師に迎え、ボッチャ、ラダーゲッター、スポーツテンカや運動遊びを紹介してもらい、全員で楽しんだ。（9月2回、10月1回 計3回実施）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">運動遊びを楽しむ子ども</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">スポーツテンカ ラダーゲッター</p>



休み時間、ALTとボッチャを楽しむ子ども

2 朝の放送時間を活用したパラリンピック競技の紹介（10月）
高学年児童が交代で自分が調べたパラリンピック競技について、朝の放送で全校児童に1ヶ月間にわたって紹介した。



3 ふれあい参観日で保護者・地域の人と一緒にいるパラリンピックについての学習（平成30年12月1日）
I'm POSSIBLE「パラリンピアン香西選手ってどんな人だろう」を教材に、保護者や地域の人とパラリンピックの価値である「勇気」「強い意志」について考え、意見を述べあった。



4 ふれあい参観日における保護者や地域の人とのボッチャによる交流（平成30年12月1日）
競技やルールについての説明を児童が保護者や地域の人にした後、児童が審判役をしながら一緒に競技を楽しんだ。



ルールを説明する子ども



地域の人と行うゲーム

6 主な成果

- 「パラリンピアン香西選手ってどんな人だろう」に対する児童や保護者、地域の人感想
 - ・あきらめずに勉強やスポーツをやりたいです。
 - ・自分に何かがなくても、信じればいつかできるようになる。新しい課題をどんどん見つけたい。
 - ・「やりたいことに100%の力を注ぐ！」という気持ちは本当に大切だと思います。

	<ul style="list-style-type: none"> ・腕だけでこんなに素晴らしいスポーツもあるんだと思った。 <p>○ふれあい参観日での保護者や地域の人感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと地域の人たちとのよい交流になった。 ・親子共々生き生きとして気持ちよかった。 ・初めてのボッチャ体験面白かったです。高齢者にも優しい時間をありがとうございます。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの活動を連続したものとして位置づけ、イベント的な扱いにならないように配慮した。 ・「ふれあい参観日」を活用して、児童だけにとどまらず保護者や地域の人巻き込んだ活動となるようにした。 ・地域の人や保護者とともに活動することを、予め児童に伝えることにより、児童の意欲を高め継続できるようにした。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい参観日でのボッチャは、保護者や地域の人に好評であったため、来年度以降も継続して実施する方向で検討したい。 ・年齢、体力等に関係なく実施できるボッチャを、地域でのスポーツとして定着できるよう社会体育等との連携を視野に入れたい。
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の中(体育・休み時間等)で、ボッチャや運動遊び等を継続して行い、運動することの楽しさを子どもに感じさせていきたい。